

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービス ハルノヒ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月26日		～ 令和8年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年2月21日		～ 令和8年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)を立案している	チャットワークによるタイムリーな情報共有を行っている。その情報を元に月に一度のミーティングでそれぞれの専門職の視点からお子様の様子や次の目標についても話し合うことができます。	在籍している職員が継続的にこどもたちの支援に関わることができる環境づくりに取り組み、指導員・専門職・看護師間での連携を高めることで、こどもたちの特性への理解を深め支援の質を高めることができるように取り組んでいきます。
2	お子様・保護者様が安心感を持って、楽しみを感じながら通所できる環境づくり	お子様と職員が1対1以上となるように、勤務体制を整えております。またお子様の医療ケア内容によっては看護職員を多く配置して対応しております。また、お子様の様子を送迎の際や連絡帳で的確に伝えるように意識して取り組んでいます。	放課後等デイサービス利用のお子様の午前利用時(長期休暇等)にも基本的に1対1で対応できる体制を整えていきたいと考えています。
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	月の活動を事前にスタッフミーティングで考え、季節に応じた活動や音楽、製作、運動遊び、感覚遊びなど様々な活動に取り組んでいます。	活動後のミーティングで活動を振り返りを行うことで、次の活動に活かしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の就労事情に応じた児童発達支援の長時間のお預かりができていない	児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所の為、午後の送迎の人員を考慮すると現状では児童発達支援の長時間お預かりが難しい状況です。	引き続き、保護者様のニーズに寄り添いながら、法人としての今後の方向性を明確にし、サービスの充実に向けて人員配置や事業形態の見直しを進めてまいります。
2	お子様の特性を理解したうえで、専門的なかわり方が画一されていない	お子様の特性について、日々スタッフ間で情報共有をしておりますが、日々の支援や活動準備によりしっかりと時間をとってのケース会議の実施や専門性を高めるための外部研修への参加が難しいと感じております。	スタッフの増員をし、ゆとりをもって支援を行える環境を整えたうえで、職員が外部の研修に参加しやすくなるような職場環境を整えてまいります。
3	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	災害発生時の避難方法について保護者へ書面でご案内をさせていただいております。細かな安全計画の説明ができていないという課題があります。	書面での案内に加え、保護者様へ直接ご説明する機会(面談時や保護者会等)を設け、避難方法や安全計画の内容を分かりやすくお伝えしていきます。